

授業コード	2121371nh1	科目ナンバリング	BRL1D01S4
授業名	教養ゼミナールB／人文社会学ゼミB		
英文名	Seminar on Liberal Arts B / Seminar in the Humanities B		
単位数	2.0単位		
開講年度・学期	2024年度後期	曜日・時限	金曜4限
実施教室			
授業形態	演習		
メディア科目			
オープン科目			
学位授与方針 (DP)	理工学部理工学科DP4		
担当教員(先頭者が主担当)	中島 浩貴		

目的概要	<p>本ゼミナールでは、質の高い情報を見抜く技術を身につけます。具体的には、本をつかって信頼性の高い記述とはどのようなものを示すのかを体験してもらいます。参加者の中には、本を読む機会があまりない人もいますので、まずは参加者みんなでゆっくり同じ本を読みながら、意見を共有していきやり方をします（本は質が高く、わかりやすいものをこちらで準備する予定です）。これを輪読といいます。これとは別に参加者が紹介したい本（こちらはジャンルは問いません）をみんなの前で発表するプレゼンテーションの両方で進めていく予定です。</p> <p>「輪読」では、一冊の本をかなり深く読む能力が身につきますし、どういった本を選んで、身につけていくのかという方法も教えられます。また「プレゼンテーション」では、自分の学んだことをほかの人にきちんと伝える能力が身につきます。皆さんは、今後就職活動でも、就職して働いてからでもいろいろな人に論理的に話をしていく必要があります。本に書いてあることをきちんと読んで、その内容をもとに話ができることは、今後様々な場所で直接応用が利きます。その練習をする場として考えてもらえると、有意義かと思います。ゆっくり、やさしく教えながら進めていきますので、一緒に刺激しつつ学んでいきましょう。</p>
達成目標	<p>(1) 学生が、一冊の本の内容を深く読めることができるようになる。</p> <p>(2) 学生が、内容のしっかりした本とそうでない本を見分けられるようになる。</p> <p>(3) 学生が、読んだ本の内容を身につけ、第三者にはっきりと説明できるようになる。</p>
関連科目	戦争と平和の歴史／歴史学A、歴史学／歴史学B、欧米文化研究、アジア文化研究、社会学、哲学など
履修条件	
教科書名	ゼミのなかで、参加者と相談して確定する。「輪読」用の文献は基本的に用意する予定であり、購入する必要はない。 (これまで吉藤兆史『教養の力 東大駒場で学ぶこと』集英社新書、2013年、村上陽一郎『あらためて教養とは』新潮文庫、2009年、成田龍一『戦後史入門』河出書房、2015年、吉見俊哉『平成時代』岩波書店、2019年を読みました。)なお「プレゼンテーション」用の文献は、個人で探してもらいます(図書館で借りのものも可能)。
参考書名	ゼミのなかで相談する。
評価方法	出席を前提に、授業への参加・取組み状況、ディスカッションでのコメント(50)、プレゼンテーション(50)で評価する。
自由記載欄	
アクティブラーニングの実施	ディスカッション、プレゼンテーション
ICTの活用	状況に応じて、パワーポイントの報告をオンラインを介して行ってもらうことがある。
実践的教育科目	

テーマ・学習内容	
第1回	ゼミナールの趣旨説明、基本的な方向性の確認、読んでいく本の確定 【事前・事後学習】どんな本を読みたいか考えてくること。また、次回紹介する本について読んでくること。(190分)
第2回	どのような本を選ぶべきか、図書館、大学所蔵の図書の中から探してみよう。 【事前・事後学習】このゼミナールのなかでどのような方向性の本を読んでいくかを考え、リストを作ってみる。また、その中から本を選び、読む。(190分)
第3回	ゼミナールでどんな本を読んでいくのか、リストを完成させる 【事前・事後学習】このゼミナールのなかでどのような方向性の本を読んでいくかを考え、リストを完成させてみる。また、その中から本を選び、読む。(190分)
第4回	輪読：まずは初めてみる。 【事前・事後学習】このゼミナールのなかで輪読することが決まった本を読み、コメントができるように準備をする。(190分)
第5回	輪読：「新書」を読んでみる。 【事前・事後学習】このゼミナールのなかで輪読することが決まった本を読み、コメントができるように準備をする。(190分)
第6回	輪読：最後まで読んで議論してみる。 【事前・事後学習】このゼミナールのなかで輪読することが決まった本を読み、コメントができるように準備をする。(190分)
第7回	個人プレゼンテーション：自分で選んだ本を紹介し、質問を受け付ける。 【事前・事後学習】このゼミナールのなかで本の内容をプレゼンテーションできるように準備をする。(190分)
第8回	個人プレゼンテーション：自分で選んだ本を紹介し、質問を受け付ける。 【事前・事後学習】このゼミナールのなかで本の内容をプレゼンテーションできるように準備をする。(190分)
第9回	輪読：二冊目に取り掛かる。 【事前・事後学習】このゼミナールのなかで輪読することが決まった本を読み、コメントができるように準備をする。(190分)
第10回	輪読：二冊目を読み終える。 【事前・事後学習】このゼミナールのなかで輪読することが決まった本を読み、コメントができるように準備をする。(190分)
第11回	輪読：三冊目に取り掛かる。 【事前・事後学習】このゼミナールのなかで輪読することが決まった本を読み、コメントができるように準備をする。(190分)
第12回	輪読：三冊目を読み終える。 【事前・事後学習】このゼミナールのなかで輪読することが決まった本を読み、コメントができるように準備をする。(190分)
第13回	個人プレゼンテーション：二冊目、自分で選んだ本を紹介し、質問を受け付ける。 【事前・事後学習】このゼミナールのなかで本の内容をプレゼンテーションできるように準備をする。(190分)
第14回	反省と総括 【事前・事後学習】今まで読んだ本のなかでどのようなことが分かったのかをまとめ、プレゼンテーションする準備をしておくこと。(190分)
質問への対応(オフィスアワー等)	1444研究室(中島浩貴研究室)で受け付けます。オフィスアワーは金曜17:10-18:00、講義や会議がある場合がありますので、事前に連絡をお願いします。
E-Mail address	hirokinakajima@mail.dendai.ac.jp
備考	履修者上限が30名となっており、初回講義で抽選を行います。作業状況により、授業内容が前後する場合があります。ゼミナールへの出席と教員及び学生間のコミュニケーションを大事にします。気楽に参加してください。

J A B E E	RG学系JABEEプログラムの履修生は、アセスメント・ポートフォリオで、「学習・教育到達目標」を参照の上、当該授業科目と「学習・教育到達目標」との関係を「カリキュラムマップ」で確認すること。 なお「学習・教育到達目標」の達成度については、「JABEEプログラム 学習の手引」内の「達成度の評価方法・評価基準」を参照して確認すること。
-----------	---

学期末試験<事務部記入>	
試験方法	
試験実施日時	
参照可否	
着席方法	
レポート提出先	
レポート提出期限日時	
備考	